

ドラッグストア大手ココカラファイン

バローが業務提携

新業態開発

バローホールディングス(HD)は31日、ドラッグストア大手のココカラファインと業務提携する契約を締結したと発表した。両社で約1700店舗を展開するドラッグストアと調剤薬局のシナジー効果を追求するのが狙い。バローの強みである食品分野と、ココカラファインが得意とするヘルスケア

関連分野を融合した新業態の開発や、オリジナル商品の共同開発も進め、競争力を高める。提携で、工場を持ち製造小売りを展開するなど食品分野に強いバローHDのノウハウを、ココカラファインの事業に生かす。一方、ココカラファインは化粧品販売や調剤事業と

分野で専門的なノウハウを持つ、バローHD子会社の中部薬品が事業に役立てる。

そのほか、スーパーやドラッグストアなどの両社の業態を組み合わせた出店、ヘルスケア関連と食を軸とした新業態店の展開を検討する。オリジナル商品の共有化と共同販促、中部地域での物流の効率化も進める。今後、それぞれの取り組みを具体化する。

ココカラファインは、東京や大阪などの都市部を中心に全国で1327店舗を展開し、介護事業も行っている。2017年3月期売上高は3772億300万円。バローHDの店舗数は792店